



■IC周辺渋滞解消へ
国内でも有数の利用率となった久能山日本平スマートIC。一方で、周辺渋滞が恒常化。時差式や矢印で交通渋滞緩和へ。



■下大谷線の早期完成
大規模地震で駿河区が被災した際には最重要道路となる下大谷線。また、近隣住環境への対応と交通安全対策を進めている。



(図) 150号久能拡幅

■150号久能拡幅
駿河区大谷～清水区蛇塚の道路2車線を4車線化へ。用地取得は90%に。渋滞緩和と旧久能街道の安全の為、工事を推進。



■大谷小学校トイレ洋式化
令和5年度に工事着工。元校長先生からご依頼のあった保温便座化は令和6年度以降のトイレ改修工事で実施予定。



■最大の資源は日本平
静岡市のだ真ん中、600万坪を有する日本平。規制の網は政令市の特権を活かして改善するべき。世界に誇る資源を活かす。



■市民球団誕生へ
清水区庵原球場を本拠地とするプロ野球球団ハヤテ223がNPBファームリーグに参戦。11月補正で球場の整備予算が可決。



■子ども医療費助成増額
感染症の流行により増額した医療費を可決。政令市初で始まった「子ども医療費助成」対象は0歳から18歳まで、負担は1回500円。



■バリアフリートイレに
地元要望から令和4年末に完成。下島公園の長年の懸案が解決。誰もが安心して使用できる公園施設整備を進めています。



■大浜公園プール再整備
昨年8月をもって休業。リニューアルに向けた予算を可決。令和7年度オープンに向け整備開始。課題への対応に取り組む。



■清水港を市営港化へ
静岡清水の合併は福岡がモデル。港を活かした街づくりには市が港の管理を。他政令市の1/3が市営港。すべて黒字。

■人口減少をあきらめない

2020年、静岡市は全国1740の自治体のうち人口減少数はワースト13位。人口減少率は20政令市中ワースト1位、静岡県内35市町人口減少数ワースト1位、これが他都市と比較した現状です。「日本全体で人口が減るから仕方がない」は本当でしょうか？

全国でも1/4の自治体では人口が増加。20政令市中、1/3の政令市で人口は増加。静岡県も35市町中、12市町で人口は増加。その中でも、ふるさと納税の税収で子育て支援を始めた焼津市、先駆けて子育て支援に取り組んできた島田市。2022年の人口転入超過で焼津市が県内1位、3位が島田市でした。一方、転出超過は静岡市が1位。

小さな町だからできる、政令市だからできないは言い訳としか聞こえない。天下の徳川家康公が晩年の愛した静岡市は人が減って当然な地域でしょうか？

明石市はまさに政治の力で大きな成果を上げました。「静岡市もできる」を信じて取り組んで参ります。



令和6年冬号

静岡市議会
議会だより

THE SOUSEI SHIZUOKA 創生静岡

〈発行元〉
創生静岡広報委員会
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL.FAX.054-272-8897

住所氏名等に変更等ございましたら、お手数ですが上記までお知らせください。

宮澤けいすけ議会レポート

令和6年を迎え、難波新市長が誕生してから9カ月。市にも変化が見られ、積極的な行政運営に期待が高まっています。今回のレポートではこれまでの活動を記載させて頂きました。議員として、これからも皆様と一緒に「静岡市をもっと良く」して行けたらと思います。今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

静岡市議会議員 宮澤 圭輔



■市長より「貴会派とは思いをひとつにする」

創生静岡代表質問への答弁 令和5年11月議会

Q 創生静岡の提言内容をどう受け止めているか。また、予算編成にどう活かしていくか。

A 貴会派の提言は、私が重視する「根拠と共感に基づく政策執行」に基づき、この点については貴会派と意思を一つにする。提言では「健全な市政運営の推進」、「安全安心なまちづくり」などの6つの柱のもと、196項目にわたる具体的な要望を頂いた。例えば、柱のひとつである「子育てしやすいまちづくり」では、保育士確保の支援策の充実や学校施設の利用環境整備の促進など、子育て・教育分野は重点的に取り組むべき分野の一つです。市民の切実な悩みや希望、現場の声を聴いて、全国の先進事例の収集・分析等を行い、要望を踏まえ、令和6年度予算に反映してゆきます。



令和6年度創生静岡政策提言書を難波市長に提出

この提言書は、令和6年度当初予算編成に向け、本市が取組むべき「行財政改革や安心安全なまちづくり、子ども子育てのしやすいまちづくり」など6つのテーマ、計196項目を記載し、着実な実行を求めるものです。

難波市長からは、「行財政改革などは同意するところが多く、進めていく」との決意も伺いました。



提言書の全文は会派ホームページ、もしくは下記QRコードより参照できます。



■政令市初の第2子保育料無償化が開始

令和3年6月年間出生数は10年で5,830人から4,320人へと減少。県内35市町最下位に。令和4年6月・9月市の子育て満足度は53%から36%まで低下。子育てに対する経済的負担の軽減、特に子育て支援で人口増の自治体では保育料の無償化の効果が高い。令和5年2月こういった現状を受けてどうするのか。(田辺前市長への質問)

子育て施策に対する令和5年2月議会質問への答弁

- 子ども・子育て施策のさらなる充実に向けて最優先に取り組むという強い思いを持ち、5大重点施策の1番目に「子ども・子育て」を位置付けます。
- 第2子保育料無償化により子育ての経済的負担の軽減につながります。
- プロジェクトチームを立ち上げ、明石市の様々な無償化施策や屋内遊び場の整備などの調査研究を実施します。

【令和5年度予算と事業】

- ① 政令市初の第2子以降の保育料完全無償化 6.9億円 (新規)
- ② 出産・子育て応援給付金給付事業 5.6億円 (新規)
- ③ 屋内遊び場施設整備調査研究事業 1,077万円 (新規)



※出典：静岡市「令和5年度 重点事業の概要」



厚生委員会視察：エスコフィールド内ポーネランド

■ふるさと納税の改善を要望

令和3年6月議会質問

お隣の焼津市はふるさと納税で50億以上の納税収入を確保。その原資で「子育て世代の住宅購入費補助」や「子どもの遊び場」を整備。令和4年には県内35市町の転入超過数で1位に。静岡市は制度が始まって以来、返礼品の公募はされず慢性的な赤字状態。そこで、返礼品の公募や担当課の設置を要望しました。

【令和5年度】(新規)

- ① 返礼品の申し込みがいつでも出来るようになります。
- ② 資金管理担当課長が新設されました。

【収支が改善】

令和2年度(改善前)ふるさと納税収入2.3億円⇒令和4年度ふるさと納税収入8.2億へ



(静岡市の返礼品(一部))

■行政運営における哲学

令和5年11月議会質問

5年前、市長を目指すに辺り書き上げた難波市長の著書「実務家公務員の技術力」、全270ページを読み解くと、行政運営と行政改革、リーダーシップ、事業構築の4つに分類でき、それを1枚のペーパーに要約し、質問しました。

・引用した課題についての認識は若手中堅職員で共通していることを確認。

・就任後に設置した提案箱に寄せられた前向きな改善案も1900件と驚きの件数が。

書籍には厳しくありながらも、率直できっと良くなるという共感を呼ぶ、難波市長の哲学がそこにありました。市長という立場にあっても、これからもご自身の哲学を忘れずに取り組みで頂きたいと思えます。



■大谷小鹿まちづくりの推進

令和3年度 都市計画審議員として「片山恩田原地区の地区計画の変更」「宮川水上地区の市街化編入」を審査、決定しました。

令和5年2月 区画整理事業への市補助金は固定資産税で回収できる事業である為、民間事業者がスピード感を持って事業を進められるよう、**予算の前倒しを会派で要望**しました。

【令和5年度予算】(追加)

恩田原・片山土地地区画整理事業費助成ほか4.4億円
宮川・水上土地地区画整理事業費助成ほか2,300万円
※現在、宮川・水上地区本整備に向けた令和6年度予算を算定中



■旧マッケンジー住宅 (国登録有形文化財) 周辺の利活用が進む

旧マッケンジー住宅①の老朽化に対して、地元から対応を求める要望者が提出され、令和4年に地域アンケートを実施。旧乳児院の解体②、市道の所管替え③を行い、今後は一帯を民間事業者に貸し出し、市は地代収入を得て、民間が維持管理と施設の利活用を進めていきます。



周辺活用想定エリア

【令和5年度予算】(新規)

補修・解体及び修繕に関する設計費等 6,500万円
修繕費等 2.3億円(11月追加補正)

※2024年1月16日から「旧マッケンジー住宅及び周辺市有地活用事業者募集公募」を予定

大谷まちづくりやスマートインターチェンジの整備、150号線沿線の新規事業等で学区の人口増加率は市内トップレベル。今後も本市をけん引してゆける地域となる様、議会でも尽力して参ります。

■城内中学校にエレベーター設置へ

昨年8月、交通事故や先天性の病気により、足の不自由な児童とそのご家族から要望を受けました。要望内容はただ一つ「進学先の中学校にエレベーターが無く、このままでは通えない。同級生と一緒に普通に進学がしたい」。他の政令市(京都市や大阪市)ではエレベーター設置率がほぼ100%であるのに対し、葵区・駿河区の中学校にエレベーターが1台もありませんでした。この現状を踏まえ、誰もが当たり前に通える教育環境の整備を求め、全委員からエレベーター設置に対する要望がなされました。

今後も誰もが安心して通える教育環境の整備を進めて参ります。

令和4年度市民環境教育委員長 宮澤圭輔



小中学校すべてバリアフリー化を実施した箕面市を視察

【令和5年度予算】(新規)

城内中学校エレベーター等整備事業(地質調査・設計) 3,640万円

城内中学校エレベーター設置事業費 2億1,900万円
2024年3月に工事着手、12月に供用開始を予定

■学校施設整備(エレベーター・トイレ等)の充実について

令和5年2月議会質問

⇒大谷小学校と大里東小学校のトイレリニューアル工事(様式化)が実施中。令和6年2月完了予定。

■浜川水門の耐震化と護岸の工事 レベル1津波の浸水区域が消滅

東日本大震災が起きた2011年6月議会質問で浜川水門の耐震性に問題があると指摘。浜川水門の耐震化工事と護岸の嵩上げを求め、2015年に着工。2021年(令和3年6月)に完了しました。

【令和3年まで】 総工事費6.7億円



静岡県の海岸堤防の補強工事と本工事により、100年に一度のレベルの津波に対して周辺の津波浸水想定区域がゼロになりました。

■学校給食の無償化について

令和3年6月、令和4年6月議会質問を行いました
令和5年11月議会において

全議員一致で「**全国一律の学校給食無償化の早期実現を求める意見書**」

1 学校給食無償化が可能になるよう関係法令の整備を推進すること

2 学校給食無償化の為の財源確保及び自治体への財源措置を行うこと

を求め、内閣総理大臣、文部科学省他へ提出されました。



■敬老事業費の見直しについて

令和5年11月議会質問

本市の敬老事業費は約3億円(市内学校120校の維持修繕費と同等額)。敬老会と敬老祝い金があり、敬老会については出席率17.8%に対し、自治会に対して対象人数×補助額2,500円を交付(2.1億円)。敬老会補助費も、参加人数分を負担すべきではないか。

また、敬老祝い金の対象者は約13,000人(5,000円/人)で自治会役員が届けているが、現金の手渡し、ハンコの押印、マンションのオート化等により自治会の負担増に。また、市民が市から依頼を受けて現金を手渡す事業は本事業だけでなく課題もあるが、どうか。

(答弁) 敬老事業の課題に対して、高齢者福祉に資する事業効果、実施団体の負担感、財政への影響などを踏まえ、見直しを進めているところです。今後は、多方面からのご意見を参考に検討を進めて参ります。

■旧大谷川周辺の浸水対策強化へ

2019年の台風19号、2023年の台風15号共に久能西平松と東大谷境の住宅地が浸水被害に。要因に①東大谷ポンプ場の燃料切れと②旧大谷川河口ポンプ場の停電が判明。2023年9月、旧大谷川排水ポンプを更新、東大谷ポンプ場の燃料切れと河口部水門の開閉について市が責任をもって対応

することに。引き続き、地域の安心・安全の向上に向けて防災力の強化に努めて参ります。

